

補助事業番号 21-107

補助事業名 平成 21 年度使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発等補助事業

補助事業者名 社団法人プラスチック処理促進協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自動車リサイクル法でリサイクルが義務づけられている自動車シュレッダーダスト (ASR) は昨年度実績で約 7 割が埋立に替わってエネルギー回収としてサーマルリサイクルされている。一方 ASR 中のプラスチックが再生利用された例はない。ASR 中には 6 割を占める可燃分の 4-5 割が汎用樹脂の PP (ポリプロピレン) であり、全体の 2 割を占める。この PP を選別分離し自動車部品として再生利用する技術を開発することで、資源の節約・温暖化防止に貢献し、もって機械振興に寄与する。

(2) 実施内容

ア 平成 21 年度使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発

http://www2.pwmi.or.jp/siryo/report/report_index.htm

技術開発の最終目標である、自動車部品への回収材の利用については可能性が確認出来た。バージン材に対し回収材を 20%配合した再生材を用いて成形・製品評価を行ったところ問題なく自動車部品(エンジン周りのディフューザー)として利用出来ることが分かった。但し、回収材をペレット化する際にスクリーンメッシュの目詰まり頻度が多く生産性に課題が残った。

2. 予想される事業実施効果

ゴムを経済的に分離する工程の自動化検討及び一層の純度向上に向けた条件検討を行う事で生産性を改善する必要がある。これらを明確にした時点で事業性が明確になる。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成 21 年度使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発等補助事業報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社団法人プラスチック処理促進協会（プラスチックショリソクシンキョウカイ）

住所：104-0033

東京都中央区新川 1-4-1 住友六甲ビル

代表者： 会長 藤吉 建二（フジヨシ ケンジ）

担当部署：技術開発部（ギジュツカイハツブ）

担当者名：技術開発部 部長 山脇 隆（ヤマワキ タカシ）

電話番号：03-3297-7511

FAX：03-3297-7501

E-mail：yamawaki@pwmi.or.jp

URL：<http://www.pwmi.or.jp/>